

広報 すぎなみ

Suginami



支えあい共につくる  
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

{ 11/1 }  
平成29年(2017年)  
No.2215

「総合計画」「実行計画」。区がこれまで取り組んできたこと

私たちのまち杉並の未来がどうあるべきか、皆さんと共に描いた区基本構想の将来像を実現するために、必要な取り組みを示したものが「総合計画」「実行計画」です。その内容は、皆さん一人ひとりの生活につながっているものばかり。これまで、区が進めてきた主な取り組みの状況を、一緒に確認してみましょう。

このまちの未来の設計図を開いてみた。

特集

# 杉並区総合計画 10年プラン ～これまでの取り組み

Contents — 主な記事 —

5 | 区議会の傍聴にお越しくささい 6・7 | 28年度の決算報告 8 | 区民意見を募集します 9 | 連載「区立施設の再編を考える」 16 | 進めよう!住みよいまちのみちづくり!

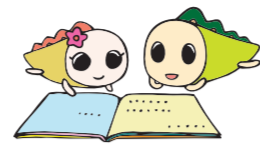
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📰 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。



# 区が取り組んできたこと。

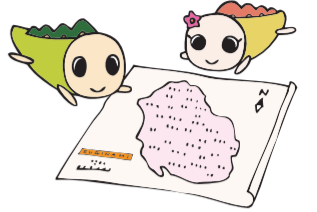
区では、将来像を実現するために、5つの目標を掲げ、その達成の道筋となる32の施策を明らかにした「総合計画（10年プラン）」と、32施策を推進するための具体的な事業を明らかにした「実行計画（3年プログラム）」を策定し、取り組みを進めています。計画の取り組み内容は多岐にわたりますが、どれも皆さんの生活をよりよくするためのすぎなみの未来の設計図となるものです。30年度に、これらの取り組みの総仕上げとなるよう計画の改定を予定しています。この改定に先立ち、24年度からの5年間の主な取り組み状況をお知らせします。



## 区の将来像 (33年度)

### 「支えあい共につくる 安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並」の実現のための5つの目標

- 目標1 災害に強く安全・安心に暮らせるまち
- 目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち
- 目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち
- 目標4 健康長寿と支えあいのまち
- 目標5 人を育み共につながる心豊かなまち



下記の色分け凡例：■目標1 ■目標2 ■目標3 ■目標4 ■目標5

## まちづくり・環境

これらの取り組み効果を「見える化」するため区独自の地震被害シミュレーションを行いました(28年度)。

### ■ 建築物の耐震化促進

耐震改修相談・耐震診断や耐震改修費助成等により改修を促進。



【区内建築物の耐震化率】



### ■ 木密地域※の不燃化促進

不燃化特区制度の活用や不燃化助成等により、建て替えや老朽建物の除却を促進。

※木造住宅密集地域。

【阿佐谷南・高円寺南地区の不燃化率】



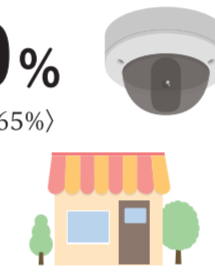
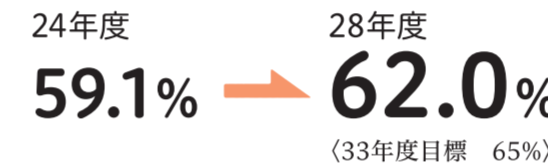
### ■ 狭あい道路の拡幅整備

「杉並区狭あい道路の拡幅に関する条例」を改正し、重点整備路線等の拡幅整備や支障物件の設置禁止等により、拡幅整備を加速化。28年度末で狭あい道路の31.1%を拡幅整備完了。

### ■ にぎわいのある商店街づくり

地域特性に合った商店街事業（14事業）の支援や装飾灯LED化(45商店街1879本)、防犯カメラ設置助成(33商店街355台)等により、にぎわいのある快適で安全な買い物環境を整備。

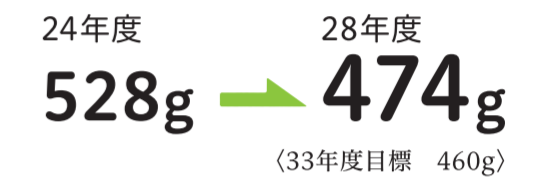
【区民意向調査による商店街への満足度】



### ■ ごみの減量

ごみ減量の普及啓発や資源化の推進等によりごみ排出量を削減。区民一人1日当たりのごみ排出量は28年度まで6年連続23区最少。

【区民一人1日当たりのごみ排出量】



### ■ みどりの創出

成田西ふれあい農業公園、下高井戸おおぞら公園（西側部分）の開園、（仮称）荻外荘公園の暫定開園など公園整備を推進。



## 行財政改革を推進

● 組織のスリム化  
173人の職員を削減  
62事業を外部委託・民営化 など

● 財源の確保  
税・保険料等の収納率を向上  
広告収入約9200万円相当を確保 など

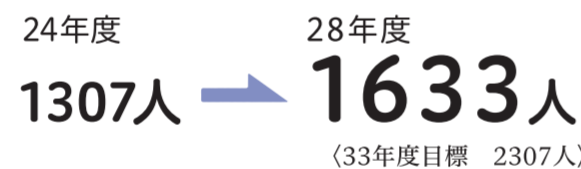
24～28年度 行革効果額 約230億円

● 基金の積立(区の貯金)  
【積立基金額】※  
24年度 359億円 → 28年度 480億円  
※年度末基金残高。

### ■ 特別養護老人ホームの整備

区有地等の公有地を活用して区内整備を推進するとともに静岡県南伊豆町の自治体間連携による全国初の区域外整備を実施。

【特別養護老人ホーム確保定員数】



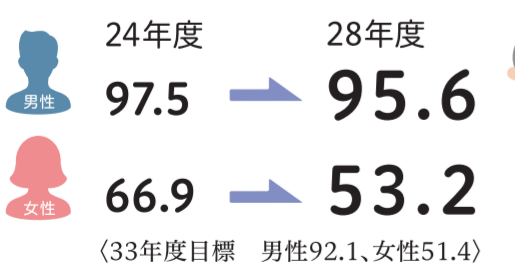
### ■ (仮称)天沼三丁目複合施設(複合施設棟)の整備

子どもから高齢者までの福祉・医療や暮らしに関する相談・支援機能および集会機能を備えた施設(天沼3-19)の整備計画を策定・推進(30年春開設予定)。

### ■ がん対策の推進

検診システムによる個別受診勧奨や、胃内視鏡検査を導入して、がん検診を推進。受診者数は28年度で年間延べ約12万8000人。

【がんの75歳未満年齢調整死亡率】※

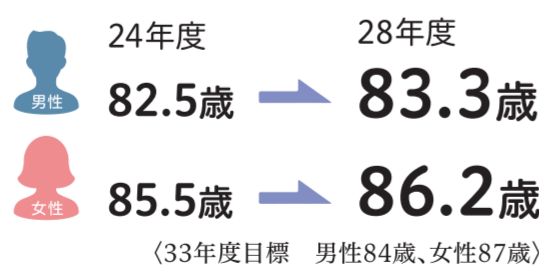


※人口規模や年齢構成が異なる地域の死亡数を標準人口で補正して算出したもの(人口10万人当たり)。

### ■ 健康寿命の延伸

区民の健康づくり支援や生活習慣病予防の取り組み等により男女ともに健康寿命を延伸。

【65歳健康寿命】※



※65歳の人が必要介護2以上の認定を受けるまでの期間を健康と考え、健康でいられる年齢を平均的に表したものを。



## 健康・長寿

### ■ 小中学校の改築

小中一貫教育校の整備や老朽化した学校の改築を推進。

【改築校】

- 井草中学校(24年7月竣工)
- 永福小学校体育館棟(24年11月竣工)
- 高井戸第二小学校(26年3月竣工)
- 杉並和泉学園(27年3月竣工)

【現在建設・改築中】

- 高円寺地区小中一貫教育校、桃井第二小学校

### ■ 小中学校全校へのエアコン設置

これまでの普通教室および特別教室(音楽室、図書室、コンピュータ室、理科室)へのエアコン設置に続き、28年度から図工室、家庭科室に順次設置中。

### ■ 次世代育成基金事業の拡充

24年度に創設した次世代育成基金を活用して、5年間で延べ1494人が、交流体験事業に参加。5年間の寄付総額は約7000万円になり事業を拡大。

### ■ 保育施設の整備

認可保育所の整備を核として定員を5000人以上拡充し、29年4月の待機児童は29人まで減少。30年4月に待機児童ゼロにするための整備を継続中。

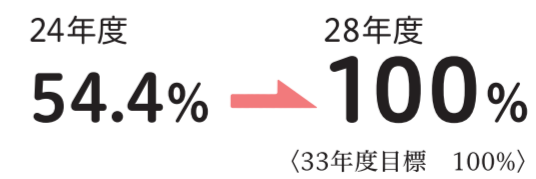
【保育定員】



### ■ 障害児療育の充実

民間事業者等による施設整備を推進。26年度に療育が必要な未就学児の事業所通所率100%を達成。

【療育が必要な未就学児の事業所通所率】



## 子育て・教育

**CHECK!** 区のこれまでの取り組みについて、ご意見をお寄せいただくために 区ホームページでアンケートを実施しています。ご協力をお願いします。

企画課